



2021年2月1日

各位

会社名 住友ベークライト株式会社
 代表者名 代表取締役社長 藤原 一彦
 (コード番号 4203 東証第1部)
 問合せ先 総務本部 コーポレート・コミュニケーション部長 白本 勝久
 (TEL 03-5462-4165)

業績予想の修正に関するお知らせ

直近の業績動向を踏まえ、2020年7月27日に公表した2021年3月期通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想修正について

(1) 2021年3月期通期連結業績予想の修正(2020年4月1日～2021年3月31日) (単位:百万円)

	売上収益	事業利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
前回発表予想(A)	183,000	10,000	7,400	157.25 円 銭
今回修正予想(B)	206,500	15,000	11,000	233.75 円 銭
増減額(B-A)	23,500	5,000	3,600	
増減率 (%)	12.8	50.0	48.6	
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期通期)	206,620	14,346	8,986	190.96 円 銭

(注) 「事業利益」は、「売上収益」から「売上原価」、「販管費及び一般管理費」を控除して算出しております。

(2) 連結業績予想修正の理由

半導体関連材料は、リモートワーク関連や5G通信、車載用途の需要増加を受け販売が一段と増加しております。また、高機能プラスチックも、自動車用途において中国市場のいち早い回復に加え、欧州・米国・日本市場の回復に伴い、第3四半期会計期間以降は想定を超えて販売が増加する見通しです。さらに、川澄化学工業株式会社を連結子会社化したことにより、前回予想時には織り込んでいなかった同社の業績を含めることになりました。加えて全社的なコスト削減活動が順調に進んだこともあり、売上収益、事業利益は前回予想を大幅に上回る見通しとなりました。

親会社の所有者に帰属する当期利益につきましては、新型コロナウイルス感染再拡大など景気の先行きに予断を許さない見方もあり状況が不透明であることから、在外子会社において減損損失の発生を想定しております。一方で、川澄化学工業株式会社の連結子会社化により負ののれん発生益が計上されるため、事業利益と同様に前回予想を大幅に上回る見通しとなりました。

以上